



「最高の出会い」

みかさん(神奈川県)

講評 イクラを持っているお子さんの笑顔に癒される作品です。あえてパッケージを手前に置いて迫力を出して、お子さんの頭も切っちゃう大胆な構図に驚かされました。お子さんにピントが合っていて、いい作品になっています。



「食卓の輝き」

守屋裕介さん(兵庫県神戸市)

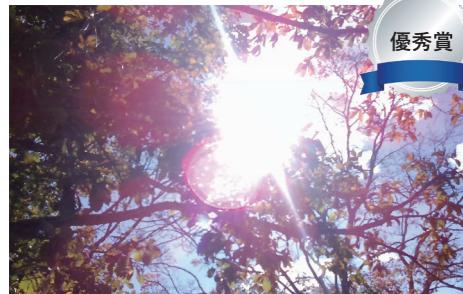
講評 イクラの粒々が一つ一つ輝いていて、本当にきれいな作品です。器の上の方に余計なものが写ってしまっているのが残念ですが、イクラ丼に集中して写真を撮っていらっしゃる姿が想像できます。今後から撮影するときは画面の四隅をよく見てくださいね。



優秀賞

「枝と光」

本田虎太郎君



「雪に顔」

大内祐輝君



「北海欲張り丼」

中村智子さん(東京都大田区)

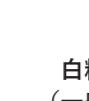
講評 盛り付けもきれいですし、偶然かもしれないが光の当て方もきれいでおいしそうです。どんぶりの両サイドもカットされており、迫力があっていい感じに仕上がった作品です。本当に食べたくなる気持ちをかきたてるいい作品になっています。



「白糠町スペシャル鮭といくらの親子ちらし寿司」

望月美由紀さん(東京都中央区)

講評 食卓をバランスよく切り取られていて、背景のちょっとしたボkehもいい味わいになっており、空気感と臨場感の伝わる作品だと思います。メインの親子ちらしをあえて寒色のお皿にのせて、イクラやサケを目立たせているアイディアもすばらしいです。



小学生の作品

白糠小学校の3年生23人からもフォトコンテスト(一般の部)への応募がありましたので、大滝さんに審査していただきました。

「木に枯葉」

新藤愁弥君

最優秀賞



「寿司トップオ」

真理さん(神奈川県)

講評

大きな寿司トップオ。迫力がありおいしそうで、きれいな作品です。背景の余計な写り込みもボkehを利用して、目立たないように処理されていて、背景がボkehることにより主役である寿司トップオがドーンと目立ついい感じです。いくらとエンペラーサーモンが元気に見えます。キャンプでの1コマだそうですが、すてきでおしゃれな写真をたくさん撮られているのでしょうか。そんなことを感じさせる作品です。



「ごちそうイクラのカルボナーラ」

2人チーム「ハングオーバープレート」さん(東京都目黒区)

講評

イクラのカルボナーラを不思議なパスタを使って料理されているアイディアもすばらしいのですが、白いプレートに料理をのせて白い背景で撮影する。とっても難しいのですが、きれいに仕上がっていて感心しました。真正から撮影しているのもわかりやすくていいです。



「秋のごちそう」

小林友梨さん(東京都墨田区)

講評

土鍋を使っておいしそうに炊き上がったサケはらこ飯。大きなサケときれいなイクラのコントラストがいいですね。土鍋の色が画面を締めていてチョイスされたセンスがいいですね。できれば携帯コンロが写っていないければもっと迫力のある写真になつたかもしれませんね。

